



## 1. マーケット・レート

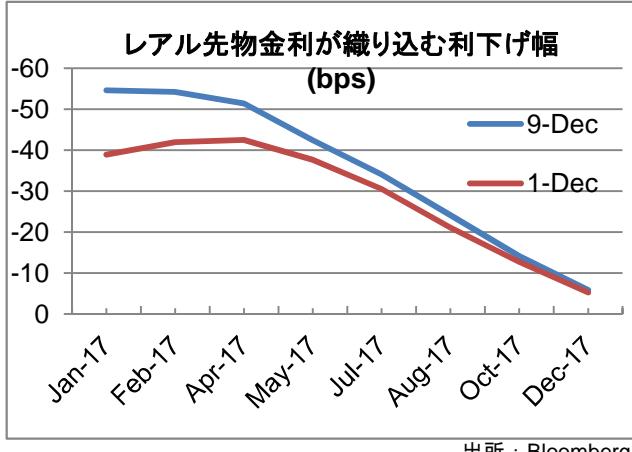
			12月5日	12月6日	12月7日	12月8日	12月9日	Net Chg
<b>為替</b>	USD/BRL	Spot	3.4230	3.4100	3.3920	3.3750	<b>3.3800</b>	+0.0050
	BRL/JPY	Spot	33.23	33.44	33.55	33.78	<b>34.09</b>	+0.31
	EUR/USD	Spot	1.0765	1.0717	1.0759	1.0618	<b>1.0553</b>	-0.0065
	USD/JPY	Spot	113.76	114.02	113.82	114.01	<b>115.22</b>	+1.21
<b>金利</b>	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.86	12.84	12.82	12.78	<b>12.69</b>	-0.0854
	Future	1Year(p.a.)	12.09	12.04	11.96	11.94	<b>11.92</b>	-0.0186
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.462	2.406	2.430	2.555	<b>2.604</b>	+0.049
	USD	1Year(p.a.)	2.685	2.593	2.595	2.685	<b>2.736</b>	+0.051
<b>株式</b>	Bovespa指數		59,831.73	61,088.25	61,414.40	60,676.57	<b>60,500.62</b>	-175.95
<b>CDS</b>	CDS Brazil 5y		309.61	301.72	293.01	290.50	<b>291.90</b>	+1.40
<b>商品</b>	CRB指數		193.475	192.526	190.852	191.412	<b>191.979</b>	+0.567

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは一時3.35台まで下落。
- 週初のレアルは3.4750で寄り付いた後、間もなく週間安値3.4800を付けたが、伯中銀によるドル売り介入や資金流入の噂が聞かれたことでレアル買いが優勢となった。週央には最高裁がカリエイロス上院議長に対し、職務停止の仮処分を出したとの報道が一時的なレアル売り材料となった。同議長が職務停止となった場合、野党の現副議長が後任となるため、財政改革法案の議会審議が停滞するとの懸念が強まったことが背景。週後半には上院議長問題を最高裁判所が正式に審議を開始、結果としては上院議長としての職務は停止されなかつた上、来週13日には歳出上限法案を上院で採決する準備を進めたことでレアルは上昇し、週間高値となる3.3530まで大きく買い戻され、結局3.3800で越週。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集では、2016年の経済成長率予想が▲3.49%から▲3.43%に9週間振りに引き上げられた。2017年予想は0.98%から0.80%へ7週連続の引き下げとなった。インフレ率予想は2016年末が6.72%から6.69%に4週連続で下方修正された。2017年末のインフレ率予想は4.93%で据え置かれたが、政策金利予想は10.75%から10.50%に下方修正された。
- 週末に開催されるOPEC加盟国と非加盟国の減産協議に対する警戒感や、米エネルギー情報局の週間統計で原油在庫が2009年1月以来の水準に増加したことを嫌気し、原油先物価格は一時50ドルを割り込んだ。
- 9日に発表されたIPCAインフレ指数6.99%と、23か月振りに7%を下回り、利下げ幅が拡大されるとの見方が強まった。市場予想は7.08%、前月は7.87%だった。

## 3.今週のチャート&ハイライト



### ブラジルCOPOM議事録で利下げ幅の拡大が明確に

ブラジル中央銀行は先週11月30日、前回会合に続いて0.25ポイントの利下げを実施した。政治的圧力が見られたものの、米大統領選挙後の海外市場でのボラティリティ拡大を考慮し、利下げペース加速には踏み切らなかった。しかし今週発表されたCOPOM議事録の内容からは来年1月からは利下げ幅を拡大することが示唆された。インフレ率の低下、財政調整が着実に進展、そして経済の低成長が利下げペースを早める理由として挙げられた。



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.35–3.55

来週は海外では米小売売上高、物価指数に加えてFOMCが注目される。FOMCでは0.25%の利上げが見込まれている。伯国内では上院で歳出上限法案の投票が予定されており、可決されるとの見方が強いため、予想外な展開になった場合にはレアル売り材料となるだろう。また、下院の特別委員会で年金改革の審議も始まる予定である。その他には小売売上高や、経済活動指数が注目される。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FPIPE CPI-週次	0.16%	0.18%	0.24%
ブラジル	IGP-M Inflation 1st Preview	0.07%	0.20%	-0.11%
ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	0.27%	0.18%	0.26%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	7.08%	6.99%	7.87%
米国	卸売在庫(前月比)	-0.4%	-0.4%	-0.4%
米国	ミシガン大学消費者マインド	94.50	98.00	93.80

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	12/12	貿易収支(週次)	Dec-16	--	--
ブラジル	12/12	税収	Nov	100714m	148699m
ブラジル	12/13	小売売上高(前月比)	Oct	-0.70%	-1.00%
ブラジル	12/13	小売売上高(前年比)	Oct	-8.20%	-5.90%
ブラジル	12/13	広義小売売上高(前月比)	Oct	-0.8%	-0.1%
ブラジル	12/13	広義小売売上高(前年比)	Oct	-10.8%	-8.6%
ブラジル	12/14	IBGEサーベイ部門売上高 前年比	Oct	-5.5%	-4.9%
ブラジル	12/15	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Dec	0.16%	0.06%
ブラジル	12/15	経済活動(前月比)	Oct	-0.5%	0.2%
ブラジル	12/15	経済活動(前年比)	Oct	-5.35%	-3.67%
ブラジル	12/15	CNI産業信頼感	Dec	--	51.7
ブラジル	12/15	CNI Consumer Confidence	Dec	--	103.2
ブラジル	12/16	FGV CPI IPC-S	Dec-16	--	0.15%